

平成 29 年度厚岸町「厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金助成制度」成果報告書
研究題名「北海道道東の厚岸湖・別寒辺牛湿原内と周辺域に生息する肉食獣の寄生虫相保有状況」

検査担当者： 谷口 萌 （上記研究者の指導学部生）

被助成者： 浅川 満彦（酪農学園大学獣医学類）

背景と目的

厚岸湖・別寒辺牛湿原（以下、湿原）は、北海道根釧地方の別寒辺牛川流域に広がる約 8300ha の地域に優れた自然環境を残し、大半がラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）の登録湿地に認定されている。この湿原を擁する厚岸町はこの優れた自然景観を保全しつつ、町民の安心安全な生活確立と持続的な産業形成を試みている。この実現のため、同町では湿原学術研究奨励補助金助成制度を制定し、湿原とその周辺地域の数多くの自然史研究が実施されている。今回、平成 29 年度の同制度を活用し、この地域に生息する中型哺乳類の寄生虫の保有状況について調査をし、公衆衛生学的な論考を試みた。